

2026 年 7 月 27 日

「大阪・関西万博」イタリアパビリオン 1920 年にローマから飛来した「アンサルド SVA9 型機」復元機の展示 ～Expo Legacy Project : Italy～

関西エアポート株式会社は、「大阪・関西万博」のイタリアパビリオンに展示されていた木製飛行機が、関西国際空港に設置されたことをお知らせします。

「Expo Legacy Project」は 2025 年大阪・関西万博で発信された各国の文化や価値観、サステナビリティに関するメッセージを、万博後も空港を通じて発信していくプロジェクトで、関西 3 空港に各国のパビリオンで親しまれた実際の展示物や作品を設置してきました。

今回万博開催期間中、連日大きな話題を集めたイタリアパビリオンの天井に展示されていた木製飛行機が夢洲を飛び立ち、関西国際空港にやってきました。この木製飛行機は、1920 年にローマから約 107 日間をかけて幾多の苦難の末に日本にやってきた「アンサルド SVA9 型機」(読み方：ズヴァナインがたき)の精巧な復元機で、当時、飛行機が到着した大阪と東京では、多くの市民がその大冒険の成功に熱狂し、歓迎式典が実施されたことが記録されています。イタリアと日本の国交樹立 160 周年となる今年、両国の長い友好の歴史を象徴する木製飛行機をより多くの方に見ていただきたいという思いから、空港での再展示が実現いたしました。

この展示を記念し、イタリアパビリオンの館長を務められ、現在は駐日大使のマリオ・アンドレア・ヴァッターニ氏らをお招きし、関西国際空港にて記念セレモニーを実施いたしました。

関西エアポートグループは、今後も、空港運営を通じて地元地域や海外各国との交流や連携の促進に貢献してまいります。

●設置場所

関西国際空港 エアロプラザ 2 階「水の広場」(※テラス部分)

※24 時間見学自由

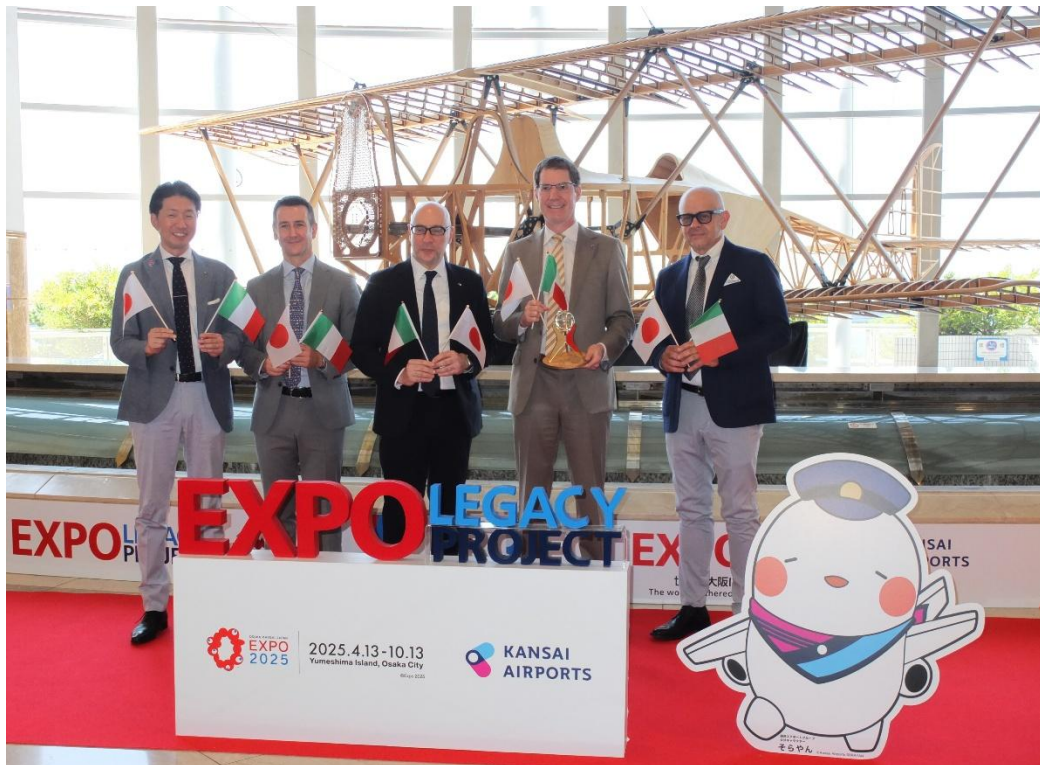
※どなたでも入ることができる場所です。

●展示期間 2026 年 7 月 25 日(土)～2027 年 3 月頃(※調整中につき未定)

●展示物紹介

2025 年大阪・関西万博イタリアパビリオンで展示された「Ansaldo SVA9」復元機は、1920 年に実現した歴史的なローマー東京飛行で使用された木製・布張りの複葉機を再現した実物大模型です。当時、飛行士アルトゥーロ・フェラリンは、約 18,000km にも及ぶ長距離飛行に挑戦し、ギリシャや中東、インド、中国を経由しながら、日本を目指しました。その道のりでは、度重なる機体の故障や整備、厳しい気象条件に直面しながらも飛行を続け、約 107 日をかけて大阪を経由し東京へ到達しました。この偉業は世界的な注目を集め、日本とイタリアの友好の象徴として語り継がれています。展示される復元機は、ジョルジョ・ボナート氏が長年の研究をもとに製作したもので、その挑戦の歴史と航空技術の発展を今に伝えています。

EXPO LEGACY PROJECT



セレモニーの様子



イタリアパビリオン



昼の様子



夜の様子



【報道関係の方からのお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
グループコーポレートコミュニケーション部
パブリックリレーションズ グループ
Tel : 072-455-2201



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016 年 4 月 1 日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018 年 4 月 1 日からは関西エアポート株式会社の 100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西 3 空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北 1 番地 大阪市西区西本町一丁目 4 番 1 号（登記上）	株主	オリックス株式会社 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 三上 康章 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港 1 番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 三上 康章 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックスグループについて

1964 年に設立されたオリックスグループは、法人金融、産業/ICT 機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資、公共インフラ、生命保険など、多角的に事業を展開する企業グループです。現在は、世界約 30 カ国・地域において、約 36,000 人の役職員により事業を展開しています。

オリックスグループの社会における存在意義は、「世の中がよりよい方向に進むきっかけとなる、“未来をひらくインパクト”をもたらすこと」です。この Purpose を軸に、グローバルで一体となり、社会に貢献してまいります。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、14 カ国において 70 以上の空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で 2050 年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロ（スコープ 1 および 2）にすることを目標に掲げ、ステークホルダーの取り組みをサポートするため、2016 年から他の空港運営事業者に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社 JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、株式会社 NANKAI、NTT 西日本株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱 U F J 銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構